

1. 応募の動機・理由を簡単にご記入ください。

高等学校家庭科における必修科目は「家庭総合」4単位又は「家庭基礎」2単位のいずれかであり、本校も含め多くの学校は「家庭基礎」を履修しています。が、この2単位の授業時間の中で「住居」の単元について学習時間を十分に確保することは非常に難しいと考えます。

しかし、「快適に住まう」という視点は生徒がこれから主体的に生活していく上で大変重要なことです。そこで、住まいの中で最も大切な「換気」を題材として組み入れ、実験を通して有効な換気方法等を考えさせることにしました。

このような実験授業を通して「住まいと換気」について考えさせることができることを発信したいこと。そして、授業の中で照度計・騒音計・風速計を使用するため、それら実験用具を揃えたい理由から今回応募致しました。

2. 学習予定の概要を以下の3点について記入してください。

(A 中心となる活動, B 授業の狙いと特徴, C 学習の流れ (指導計画))

A 中心となる活動

換気に関する実験と自分たちの便利で快適な住まい方からヒートアイランド現象等の環境負荷や地球環境へと繋げ、「本当に快適な住まいとはどういうものなのか」生徒自身に考えさせます。

B 授業の狙いと特徴

「快適に住まう」という視点は、これから生徒が主体的に生活していく上で、大変重要な課題です。そこで、特に「換気」に重点を置き、換気に関する実験を行い、科学的な視点を組み込むとともに、自分が住まいを選択する時にはどのような間取りが好ましいか考えさせるようにします。

また、「通風・換気」からヒートアイランド現象等の環境負荷や本来の日本家屋や京町やなど、地域も含めた地球環境へと繋げ、「本当に快適な住まい」について生徒に投げかけ、考えさせるようにします。

この授業は建築設計士を講師に招き、IT 授業の形で進めます。

C 学習の流れ (指導計画)

- ・小・中学校における学習内容 (照度・騒音) を振り返り、室内環境の条件について考えさせます。
- ・換気に関する実験の目的と方法を説明し、次に実験を行い測定結果等をまとめます。
- ・測定結果から有効な窓の開け方や間取りなどについて考察します。
- ・家庭・地域・地球環境の視点から「快適な住まい」について考察します。

その他特記事項がありましたらお書きください

- ・学習指導案やワークシートなどを作成しています。
- ・実験内容や授業の進め方等については講師と十分相談・検討を行っています。

※複数枚になってもかまいません。

※他に添付資料がありましたらお付けください。